



今日からできる！地球にやさしいエコアクション 未来へつなごうワンデーフェスを開催

12月12日、白鷹町中央公民館を会場に「未来へつなごうワンデーフェス」が開催されました。環境をテーマに子どもも大人も一緒になって考え、未来に向けてのアクションを起こそうと、白鷹町青少年育成町民会議と白鷹町美しい郷づくり推進会議が計画したものです。

世界で数々の賞を受賞している「マイクロプラスチックストーリー」の上映会に先立って行われた「荒砥高校生の主張！」。環境学習で調べ上げた最上川水質調査等の結果を熱く丁寧に語っていただきました。また、このまま温暖化が進んでしまった場合の近未来をVRシアターで体験したりしながら、参加者それぞれが、豊かな環境を守るための未来への約束を行いました。



フェスを盛り上げた荒砥高校生とスタッフの皆さん



置賜地区緑化功労者表彰 長年にわたり地域の森林整備・環境緑化に尽力されました

12月16日、令和3年度置賜地区緑化功労者表彰式が行われました。今年度は、森林整備部門において中川智浩さん(山口)、環境緑化部門においてあたご山愛護会(会長吉田武さん)が受賞されました。

中川さんは、昭和57年に家業の苗木生産を継承、以来約40年にわたり裸苗の生産に精励されました。現在も置賜管内唯一の裸苗生産者として、優良苗木の生産に努めておられます。

あたご山愛護会は、地域のシンボル「愛宕山」を後世へ守り継ぐため、平成21年から遊歩道の草刈や支障木伐採等の環境整備活動に取り組んでこられました。昨年は子どもたちを中心としたネイチャーゲーム等の自然体験活動も新たに行っています。

受賞者の皆様には心よりお祝い申し上げます。



受賞者の中川さん(中央左)と吉田さん(中央右)



恩返し舞台へ 町内出身の佐藤涼香さんが仙台フィルハーモニー管弦楽団と協演

本町出身(高玉)のソプラノ歌手、佐藤涼香さんが、文化庁委託事業の新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズの仙台公演に出演します。同事業は、音楽文化の振興を目的として、将来性のある優秀な新人演奏家にプロオーケストラとの協演の機会を提供しているものです。全国各地区より優秀な演奏家が受験した、厳正かつ激戦のオーディションを突破し、仙台フィルハーモニー管弦楽団と協演します。

2月19日に日立システムズホール仙台で開催される同コンサートへ向け佐藤さんは、「初めてオーケストラと協演することになるが、しっかりと調整しこれまで支えてくださった方々への恩返し舞台となるよう、全力で挑みたい」と抱負を語っていただきました。



「本番は全力で楽しみたい」と意気込む佐藤さん



地域に根ざした障がい者施設に 社会福祉法人 白鷹こぶし会、創立 20 周年記念式典を開催

12月11日に、町内の障がい福祉サービス事業所こぶしの家（福田芳郎施設長）と運営する社会福祉法人白鷹こぶし会（金田正子理事長）の創立20周年記念式典が、パレス松風で開催されました。金田理事長は挨拶で「開設当初は利用者10人でスタートし、現在は37人となった。今後も利用者の皆さんと、笑顔で楽しく過ごしていけるように共に歩んでいきたい」と述べ、利用者代表挨拶では「ここで作業できることは、私の生きがいです。職員の皆さん、地域の皆さん本当にありがとうございます。」と感謝の言葉を述べました。職員と利用者の手作りで開催した式典は感動に包まれました。



感謝の言葉を述べる利用者の代表



災害出動時の交通安全を願って 白鷹町消防団緊急車両安全祈願祭を実施

12月11日に白鷹町消防団に小型動力ポンプ積載軽自動車が増備され、引き渡し式及び安全祈願祭が執り行われました。増備されたのは、第2分団第1部第4班（森合）、第3分団第1部第3班（仲町）、第5分団第3部第1班（広野）の3台となります。小型動力ポンプ積載軽自動車の更新配備については、今年度までで15台の配備が完了しています。

小型動力ポンプ積載軽自動車は狭い場所にも進入可能で、水害時は小型動力ポンプを降ろすことにより、土のうなどの必要資機材を積載することができるため、非常に機動力のある車両となっています。



分団長から班長へ車両の鍵が受け渡されました



しめ縄で、今年一年を締めくくる 東根小学校でしめ縄づくり体験を実施

12月17日に東根小学校5年生の児童たちは、この一年間を通し学習してきた、米作りの最終過程として、稲わらを使ったしめ縄づくりの体験をしました。

しめ縄は、お正月に玄関や神棚などに飾り、良い新年を迎えられるようにと願うものです。児童たちは、地元のしめ縄作り名人の方々から作り方を教わりながら作業をすすめました。名人の縄ないを間近で見た児童からは「すごい！」と感嘆の声が漏れていました。

児童は、春の田植えから冬のしめ縄づくりまですべてを体験し、稲作が日本人にとってかけがえのない伝統であることを学びました。



名人からの直接指導で縄ないを教わりました